CoreData

大容量データマイグレーション

Yuki Yasoshima Ubiregi Inc.

twitter: @yaso_san objective-audio.jp

サンプルソース

CoreDataの マイグレーションは 大量にメモリを消費する

マイグレーションの仕組み

- Lightweight Migration
- Custom Migration

Three Stage Migration

Stage 1

オブジェクトの生成とコピー

Source Context **Destination Context**

Version 1

古いバージョン

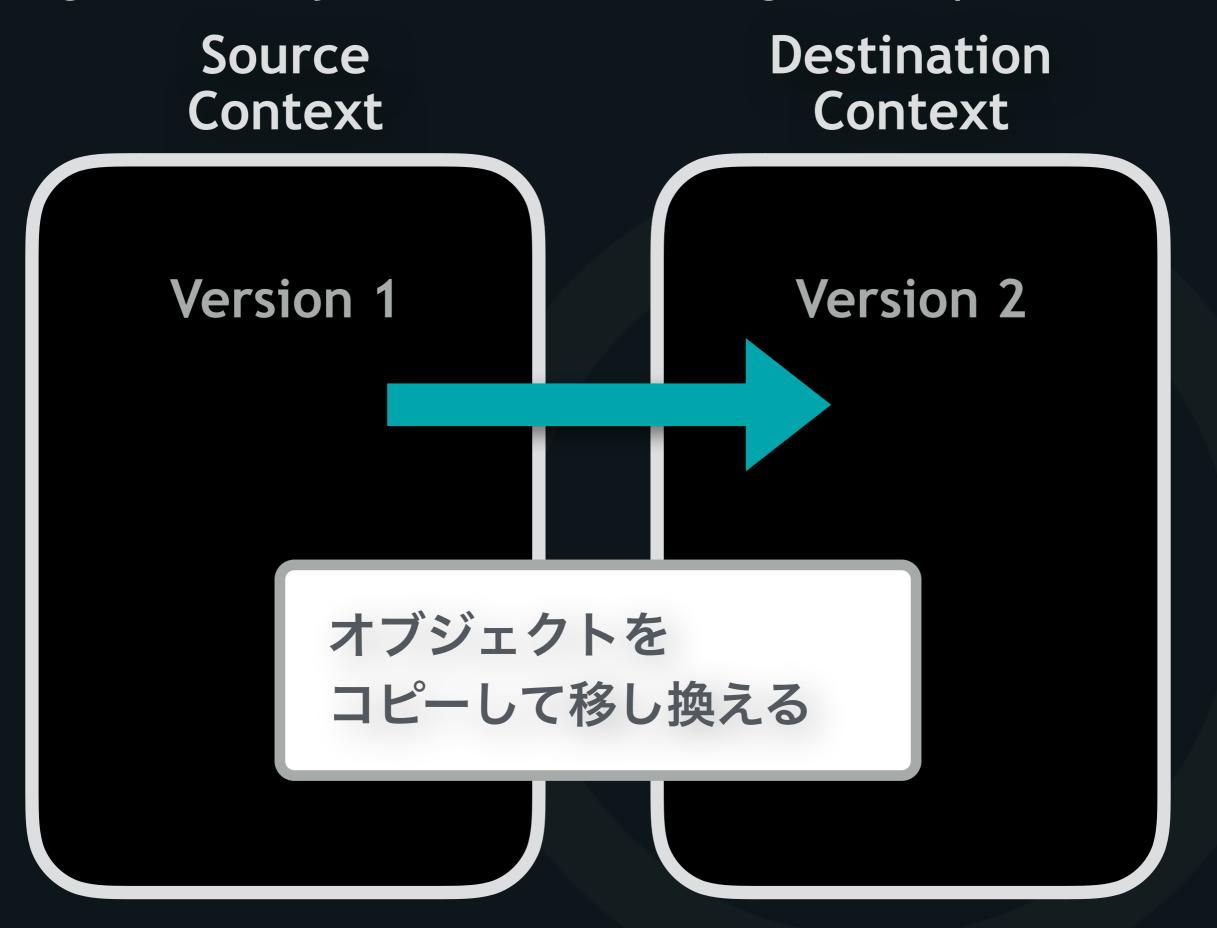
Version 2

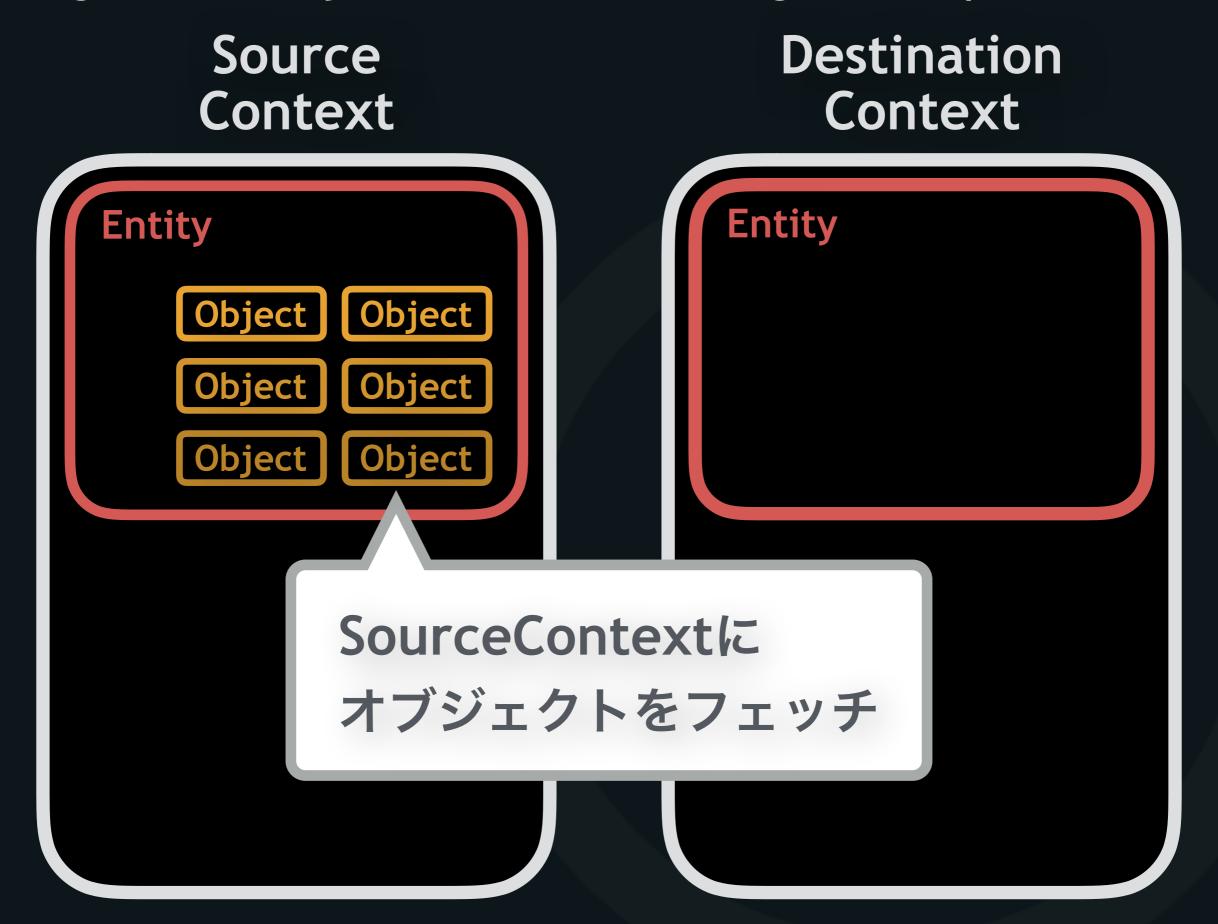
新しいバージョン

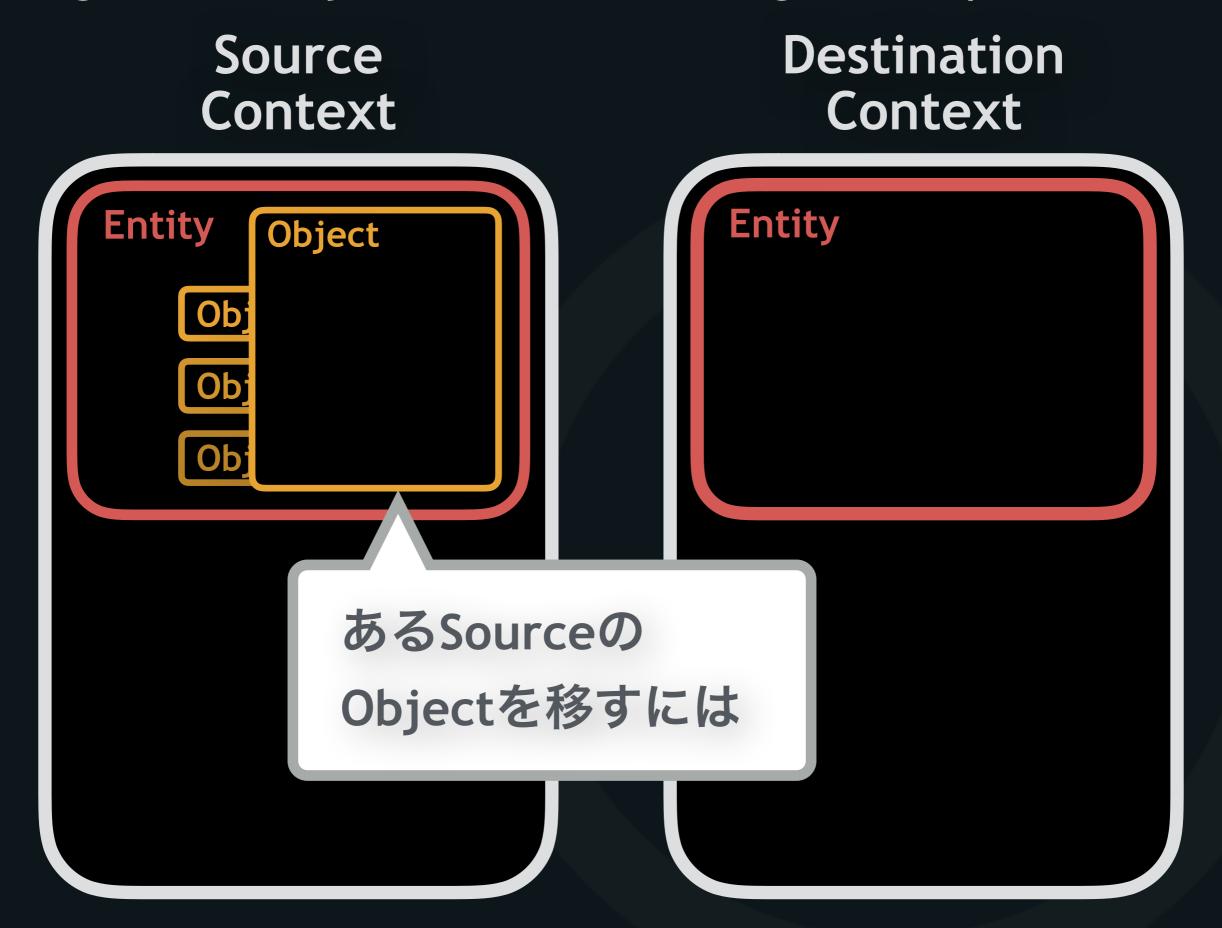
MigrationManagerには

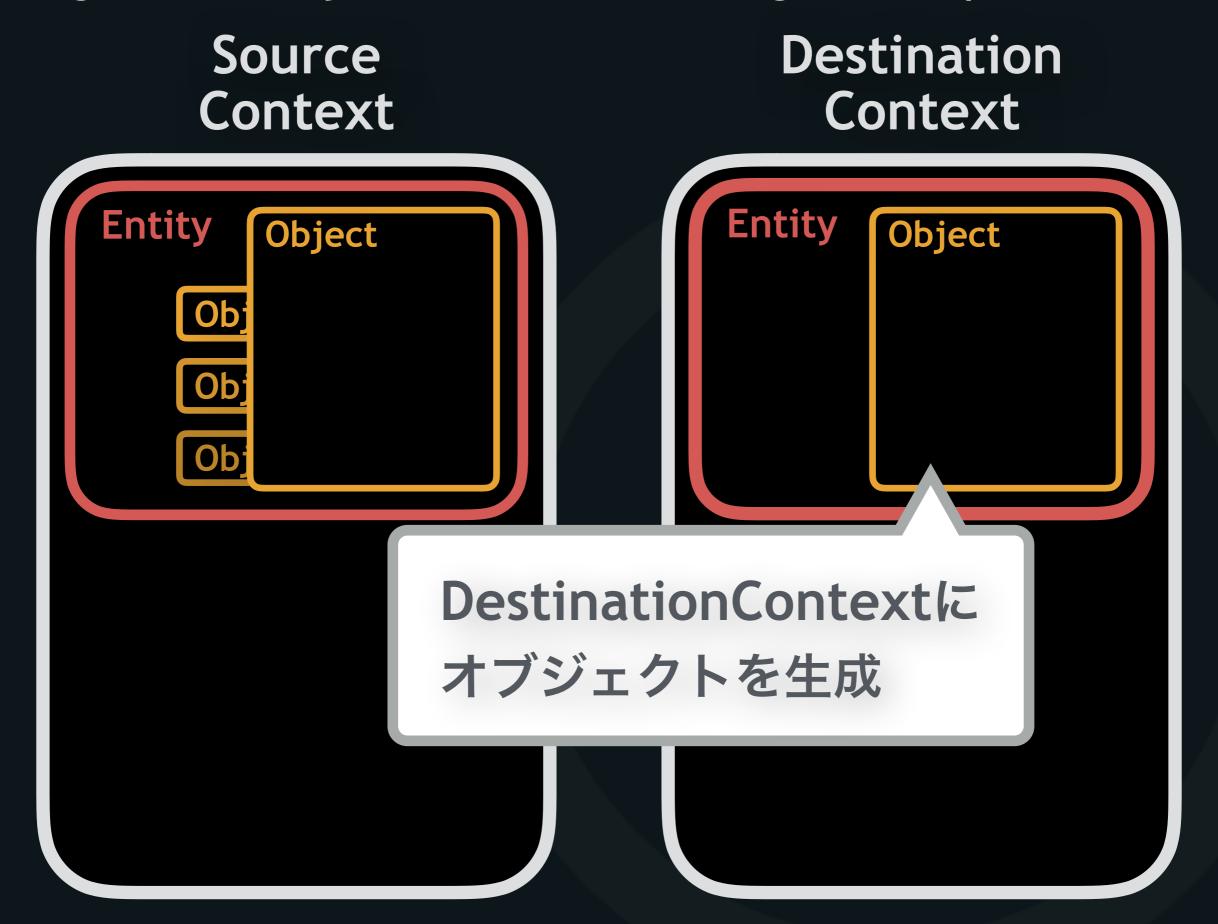
古いバージョンと新しいバージョンの

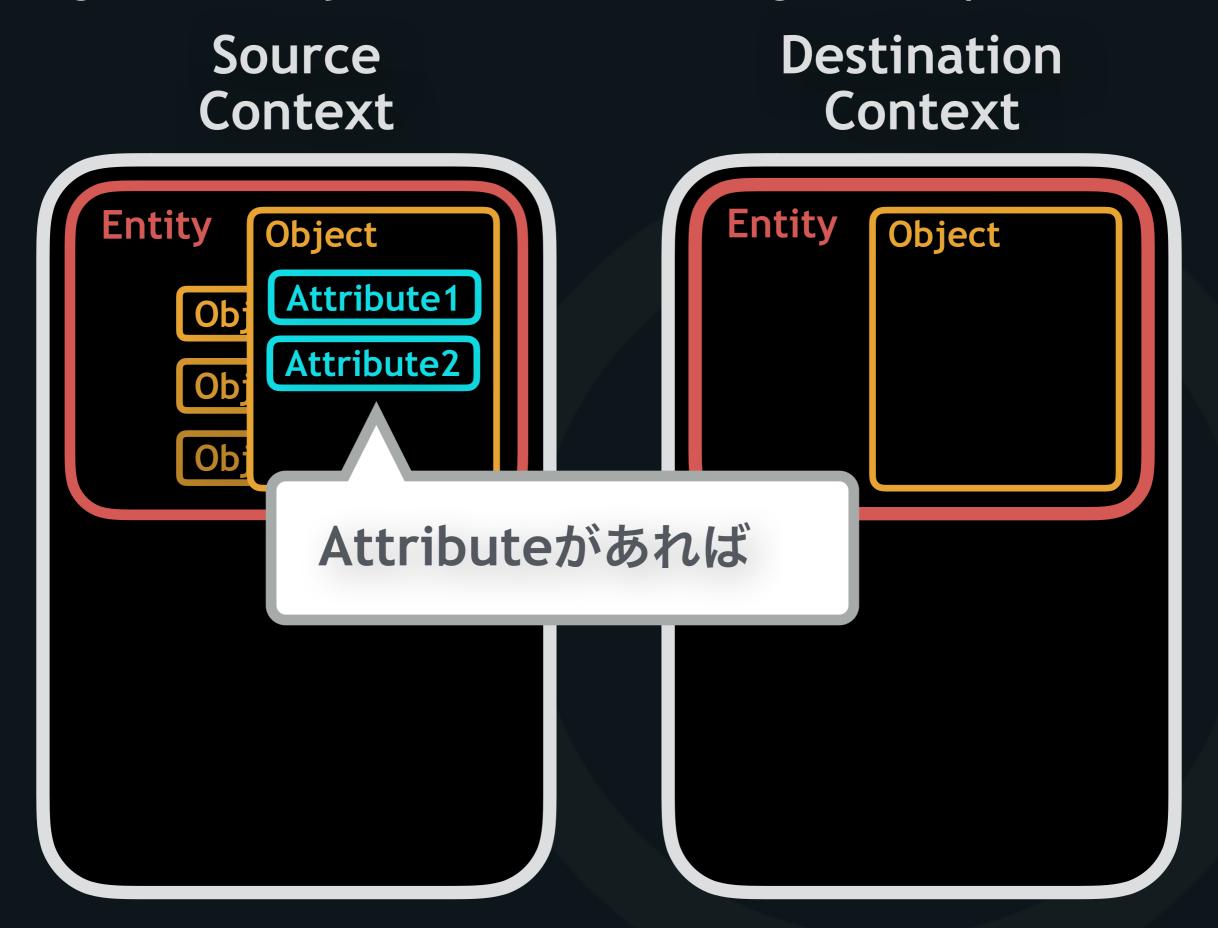
ManagedObjectContextが作られる

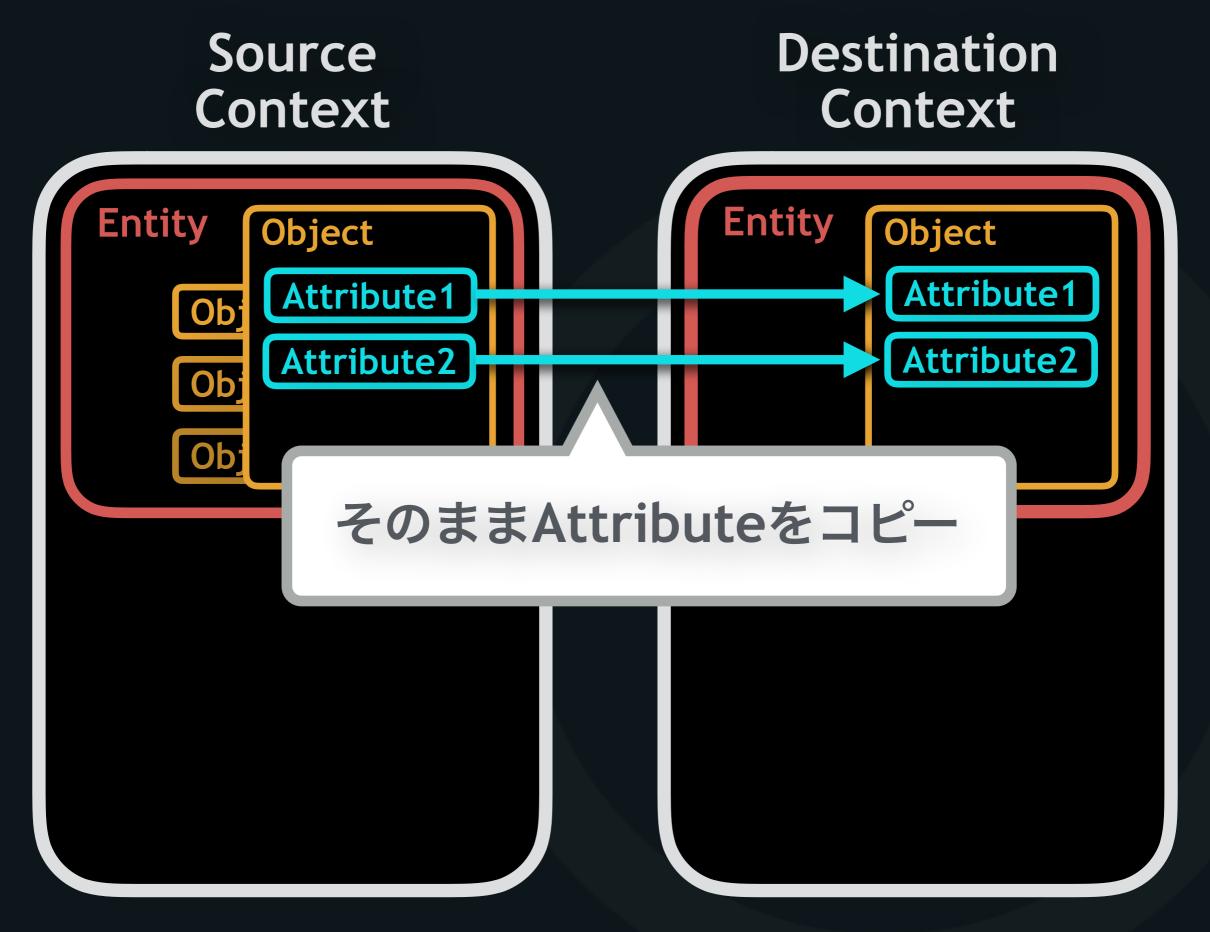


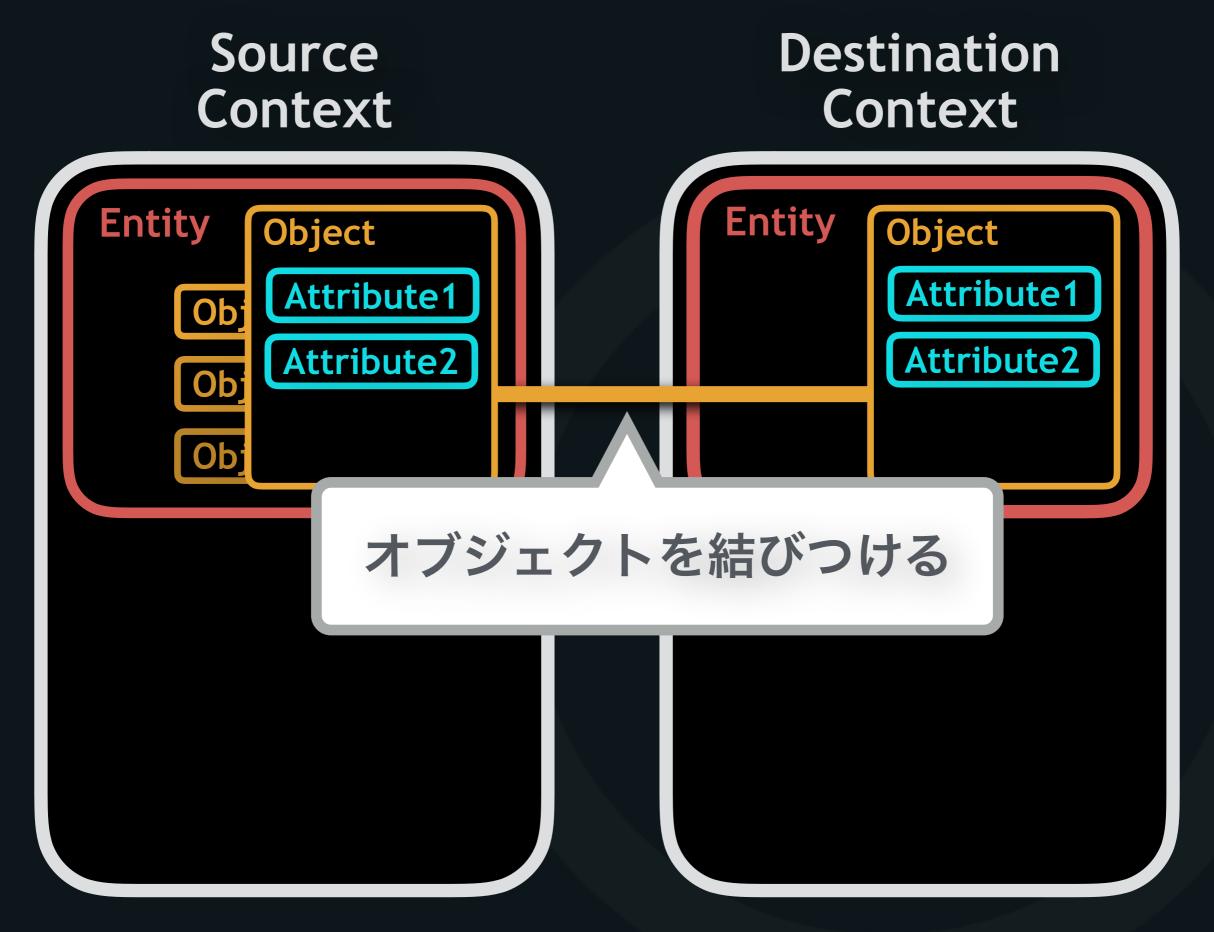


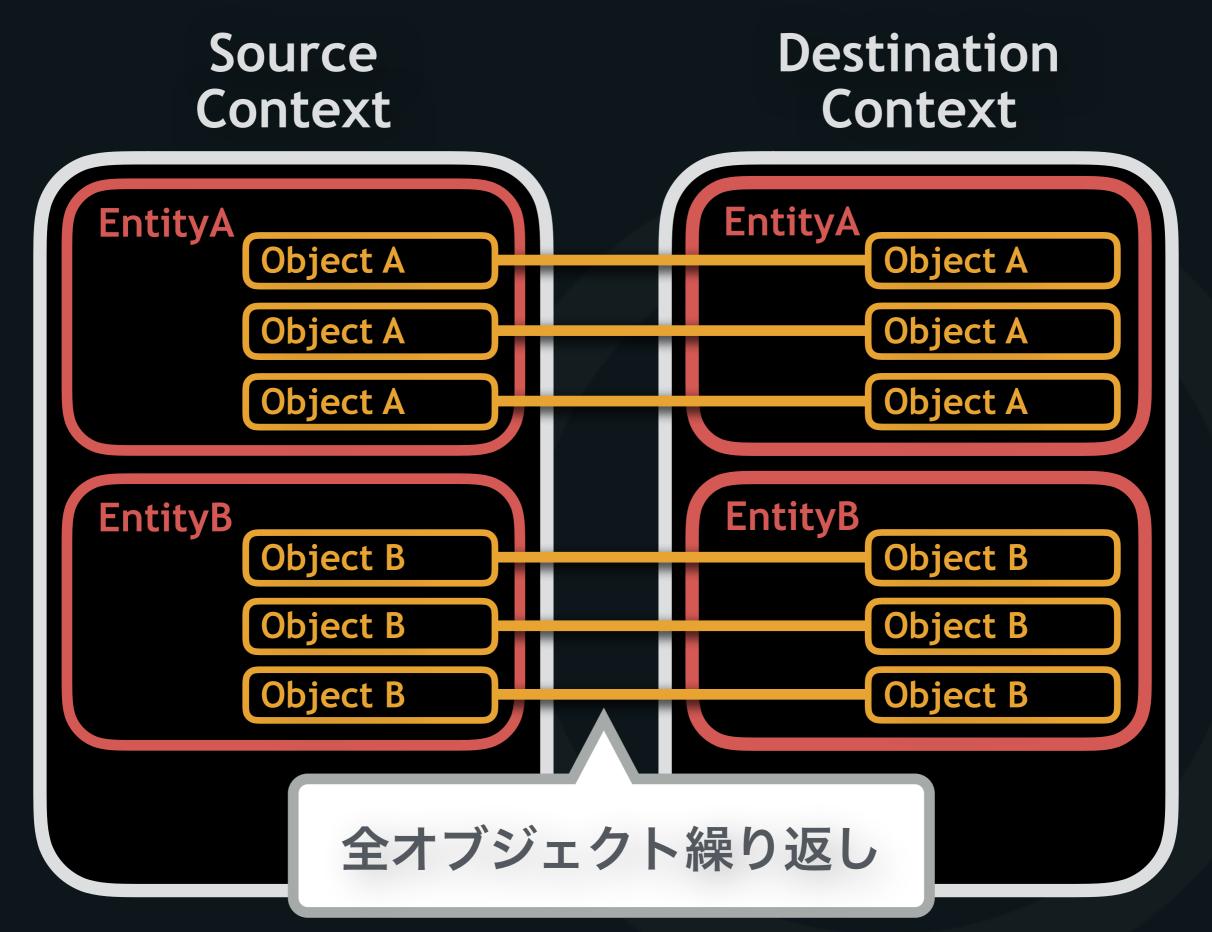






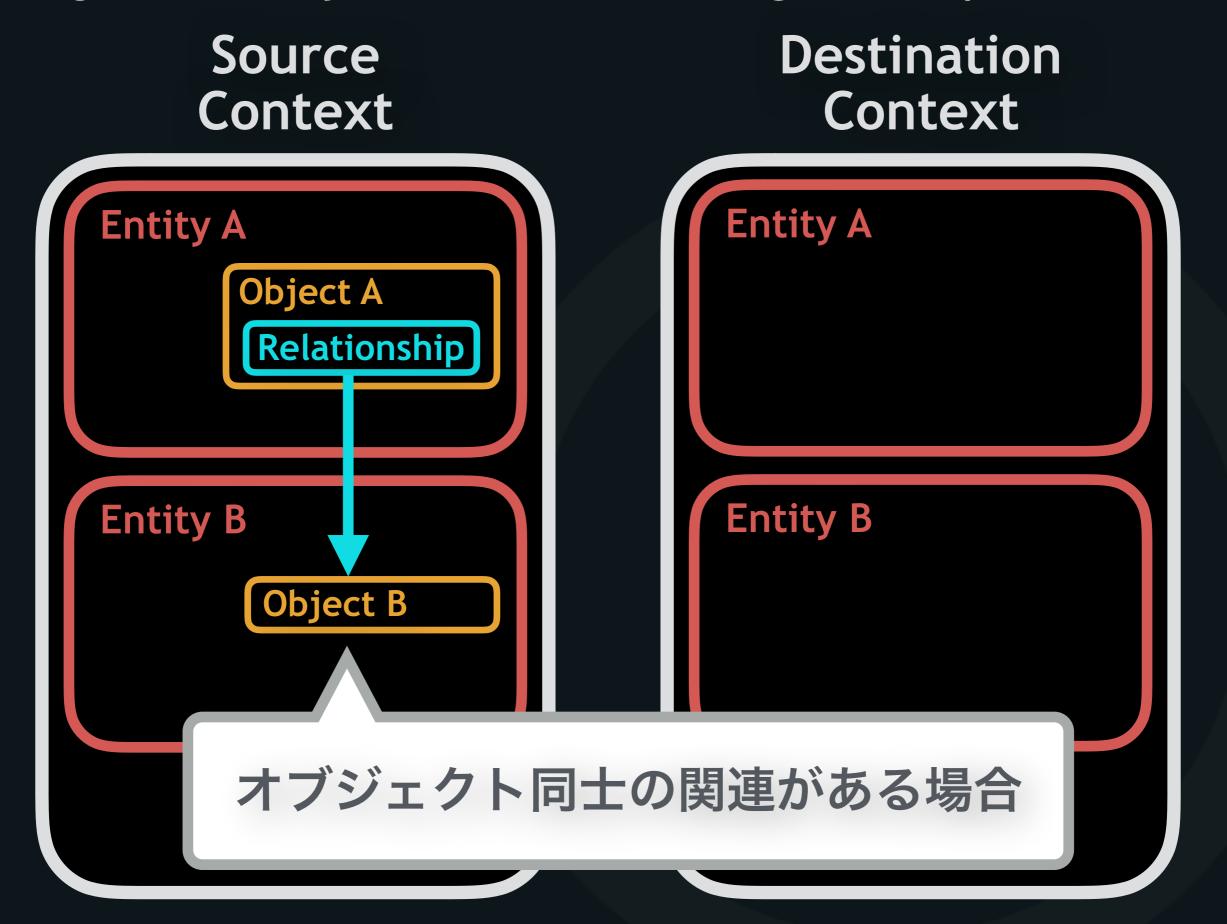


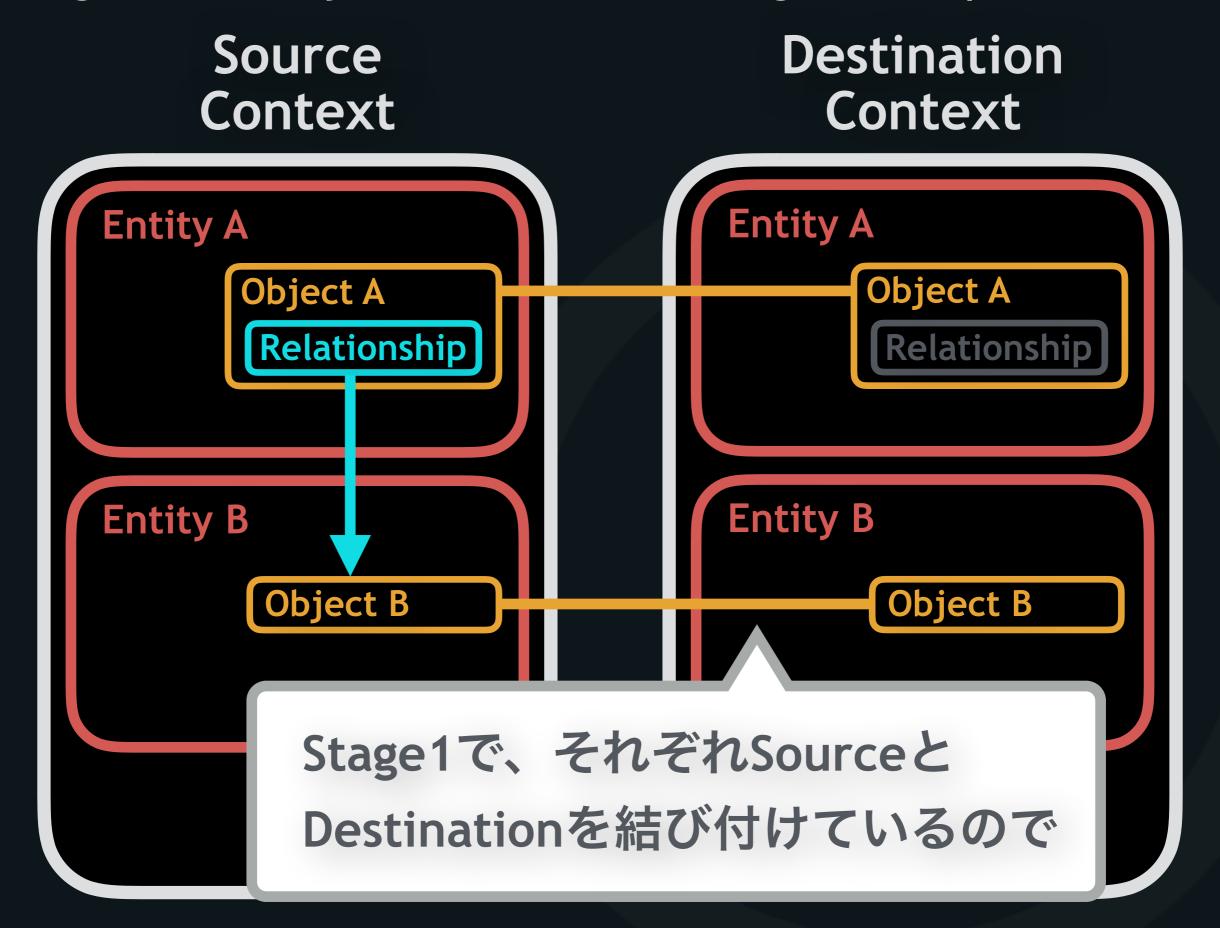


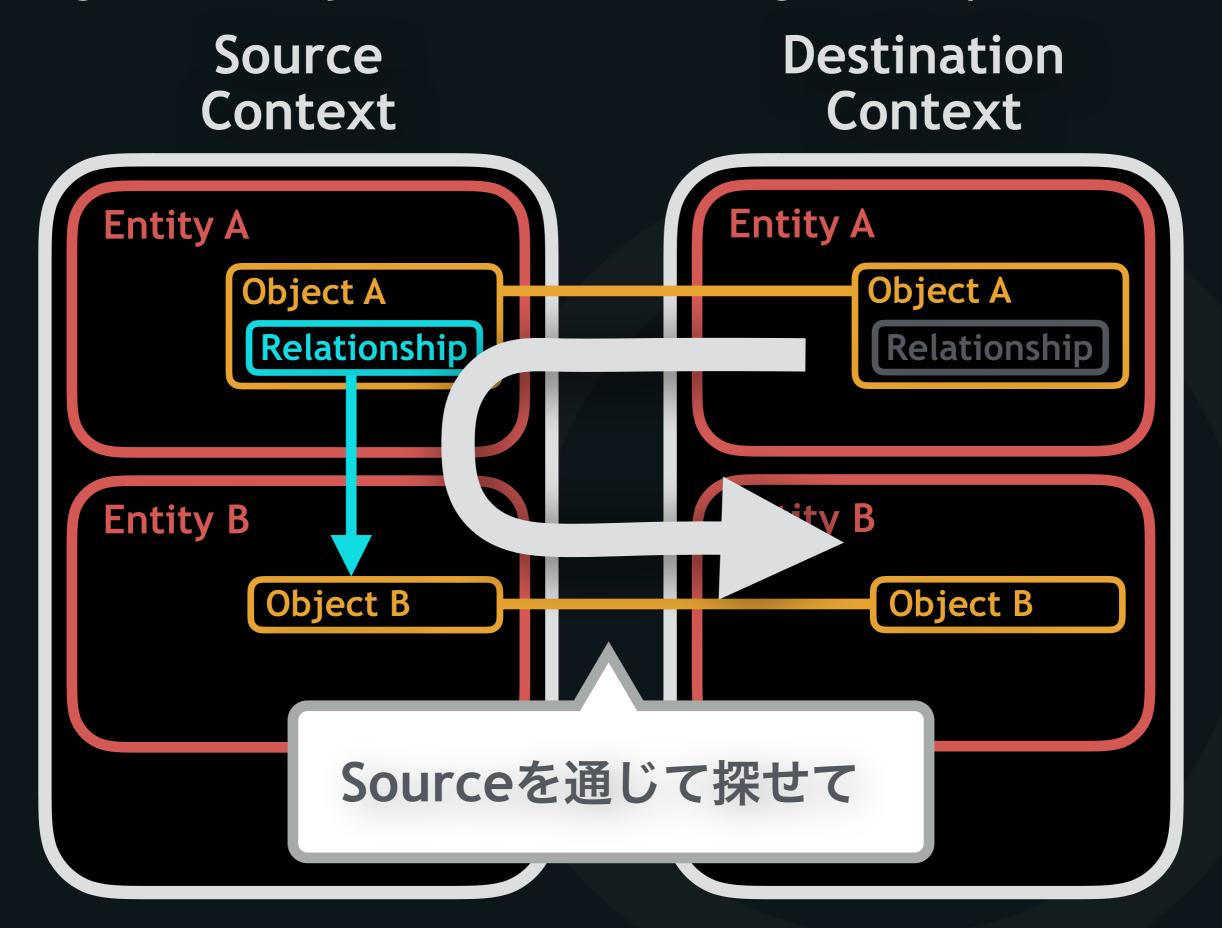


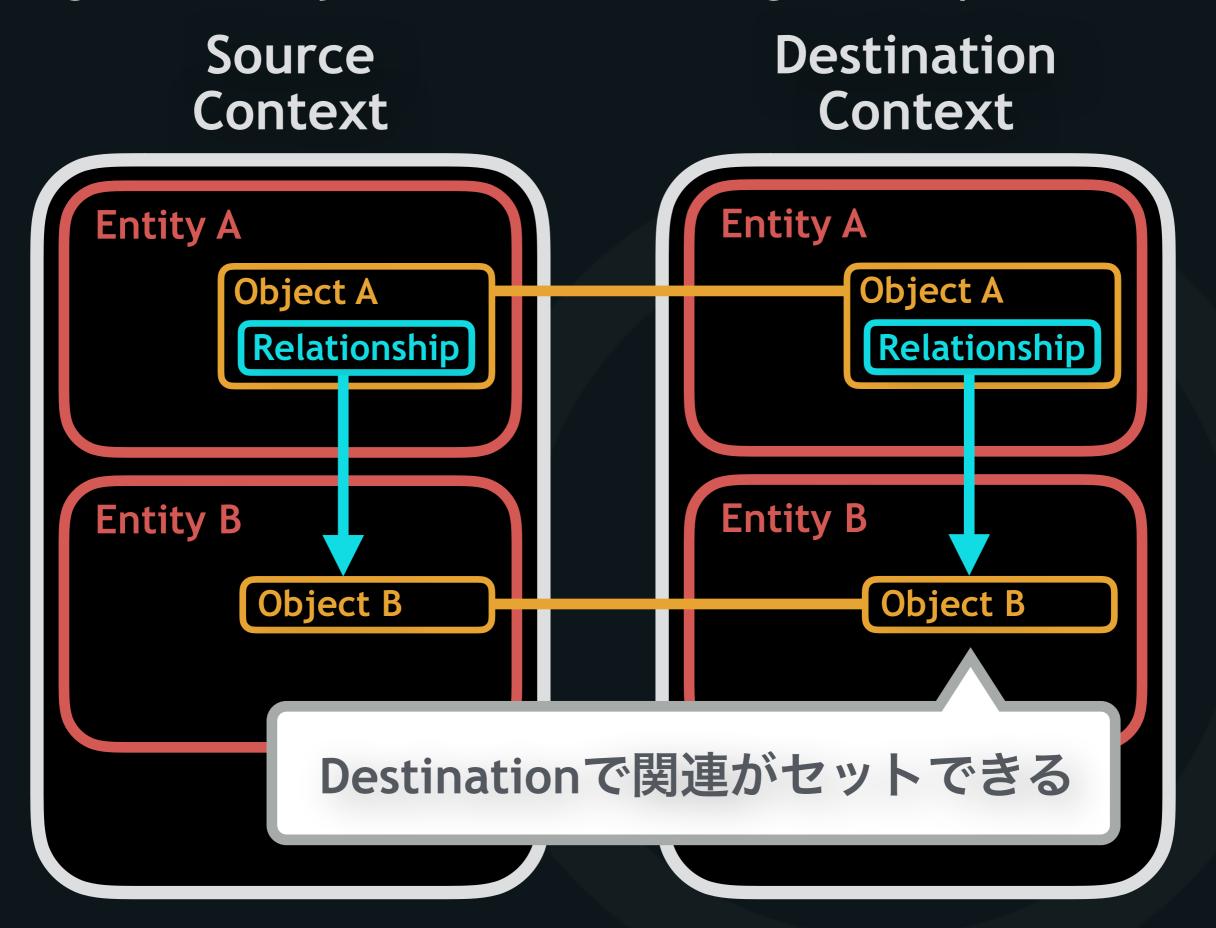
Stage 2

関連をセット









Stage 3

検証

なぜ、メモリを消費するのか?

データを引き継ぐために すべてのオブジェクトを メモリに載せているから

大容量のデータの マイグレーションを 終わらせるには Core Data
Model Versioning and
Data Migration
Programming Guide

Customizing the Migration Process

Mapping Modelを分けて マイグレーションプロセスを 分割してforループで実行



マイグレーション分割の壁

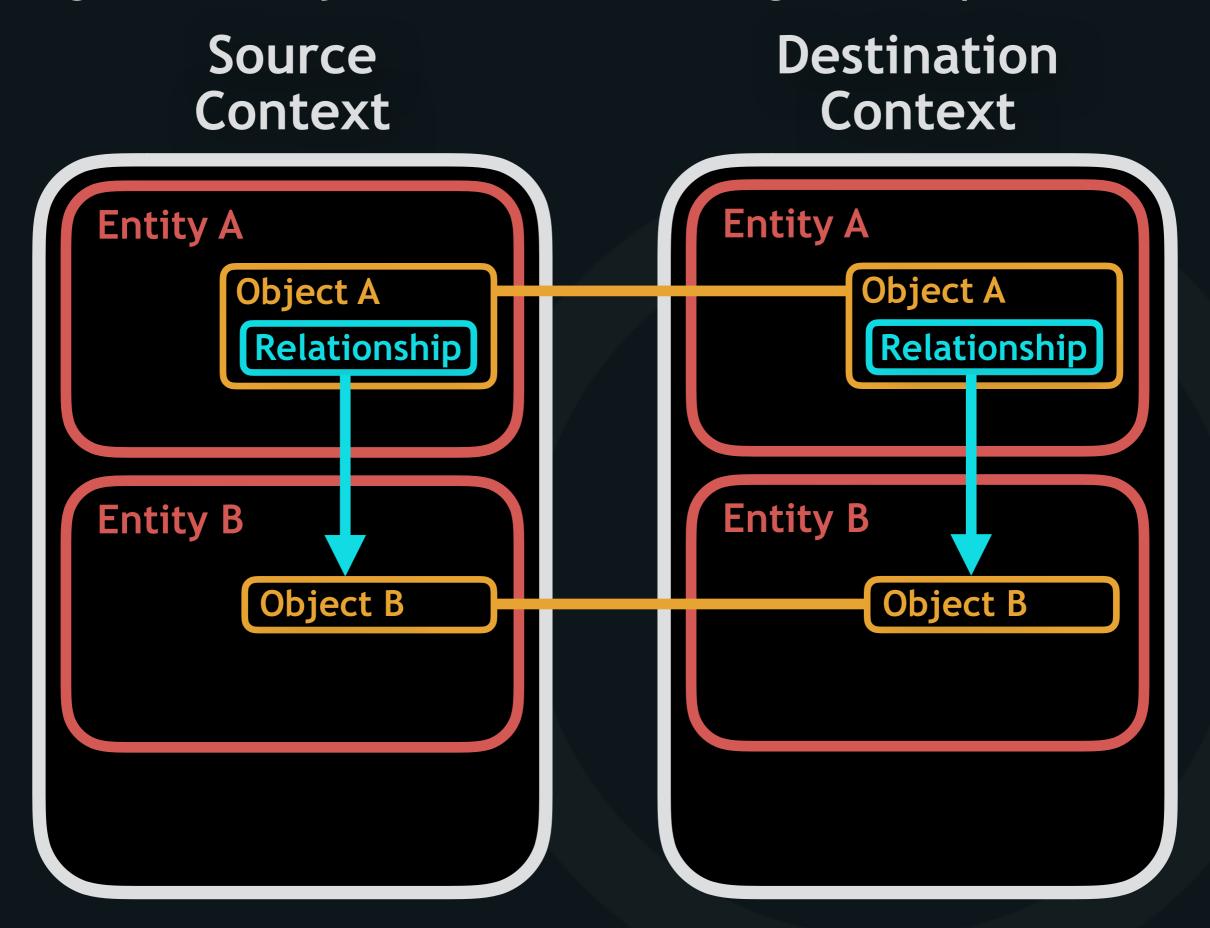
マイグレーション分割の壁 1

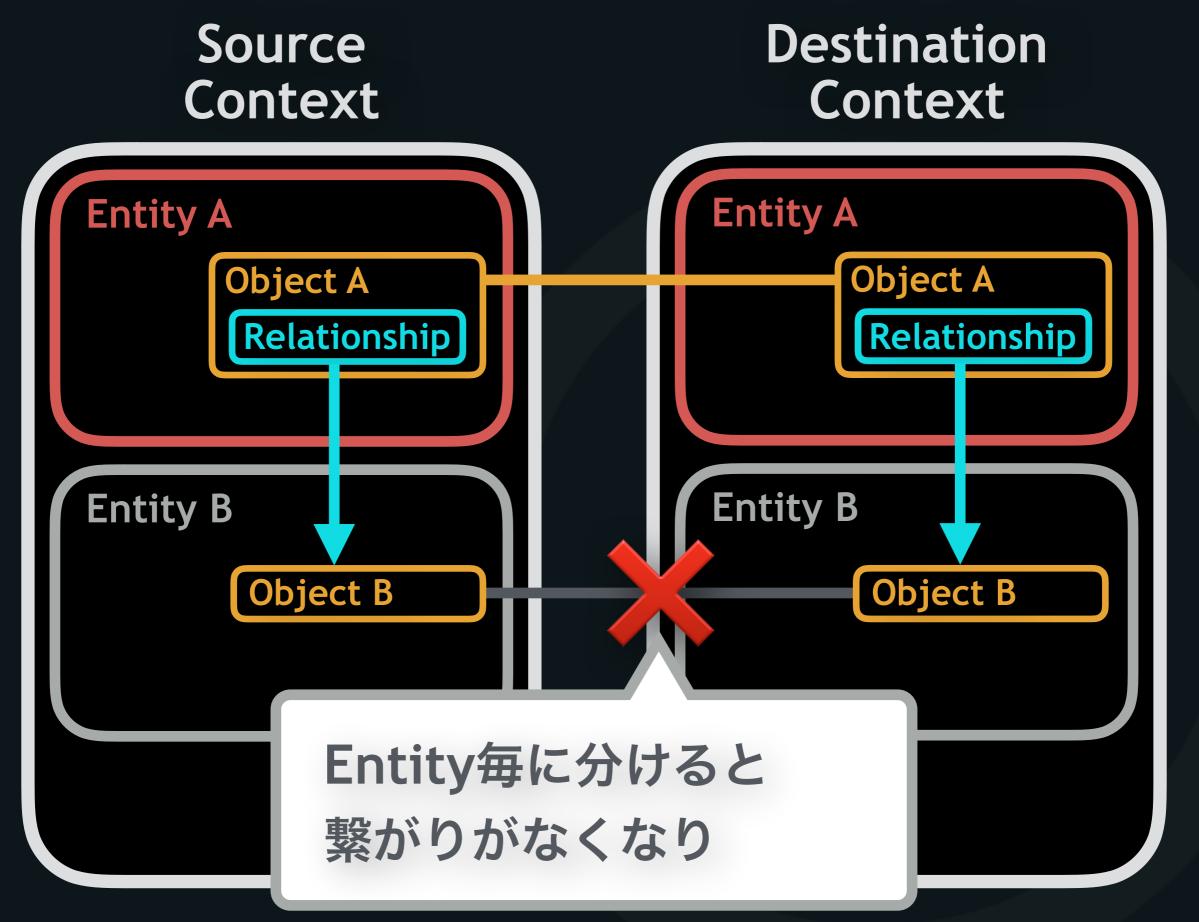
分割する数だけ Mapping Modelが必要

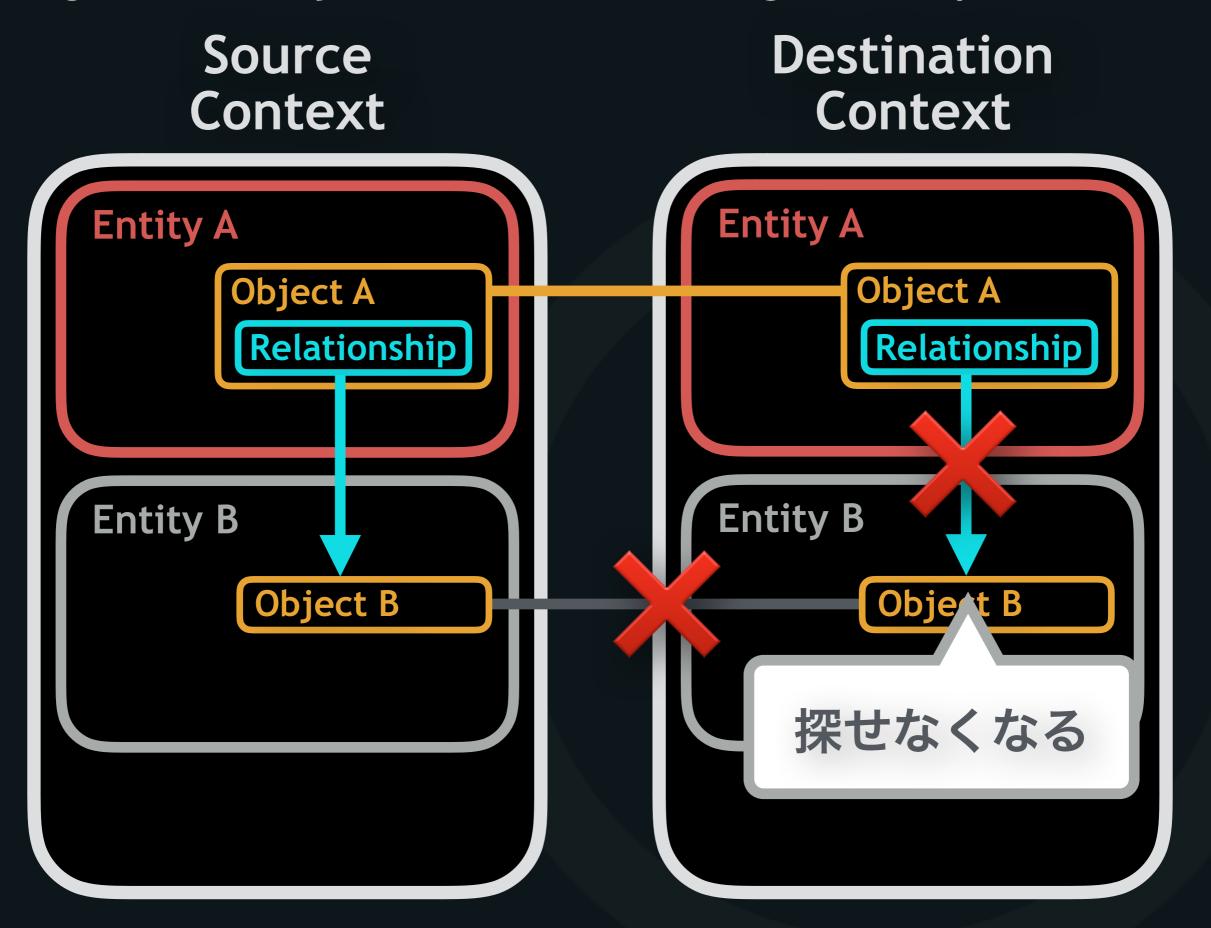
GUIでは作るのも管理も大変

マイグレーション分割の壁 2

SourceとDestinationの オブジェクトの結びつきは 分割すると引き継げない







マイグレーション分割の壁3

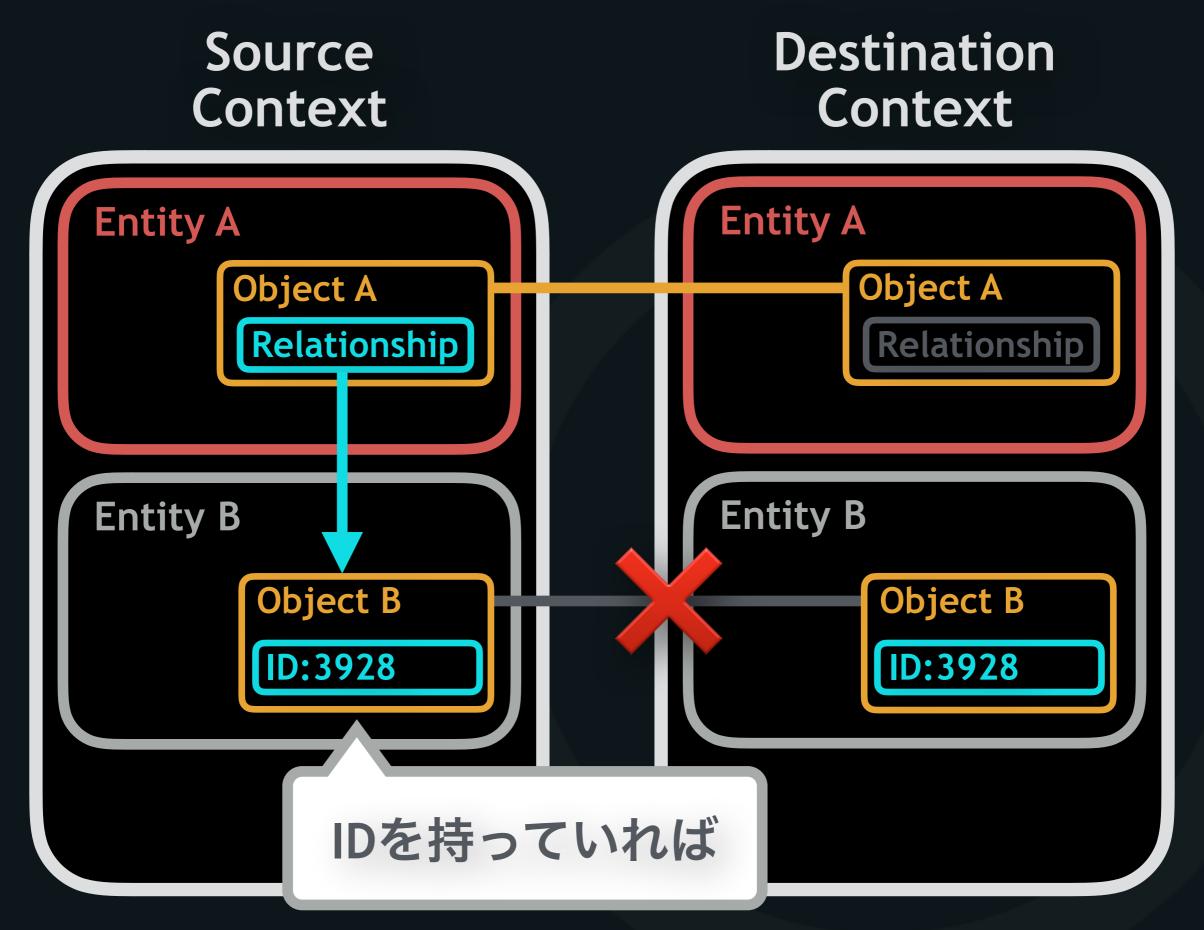
分割した数だけ時間がかかる

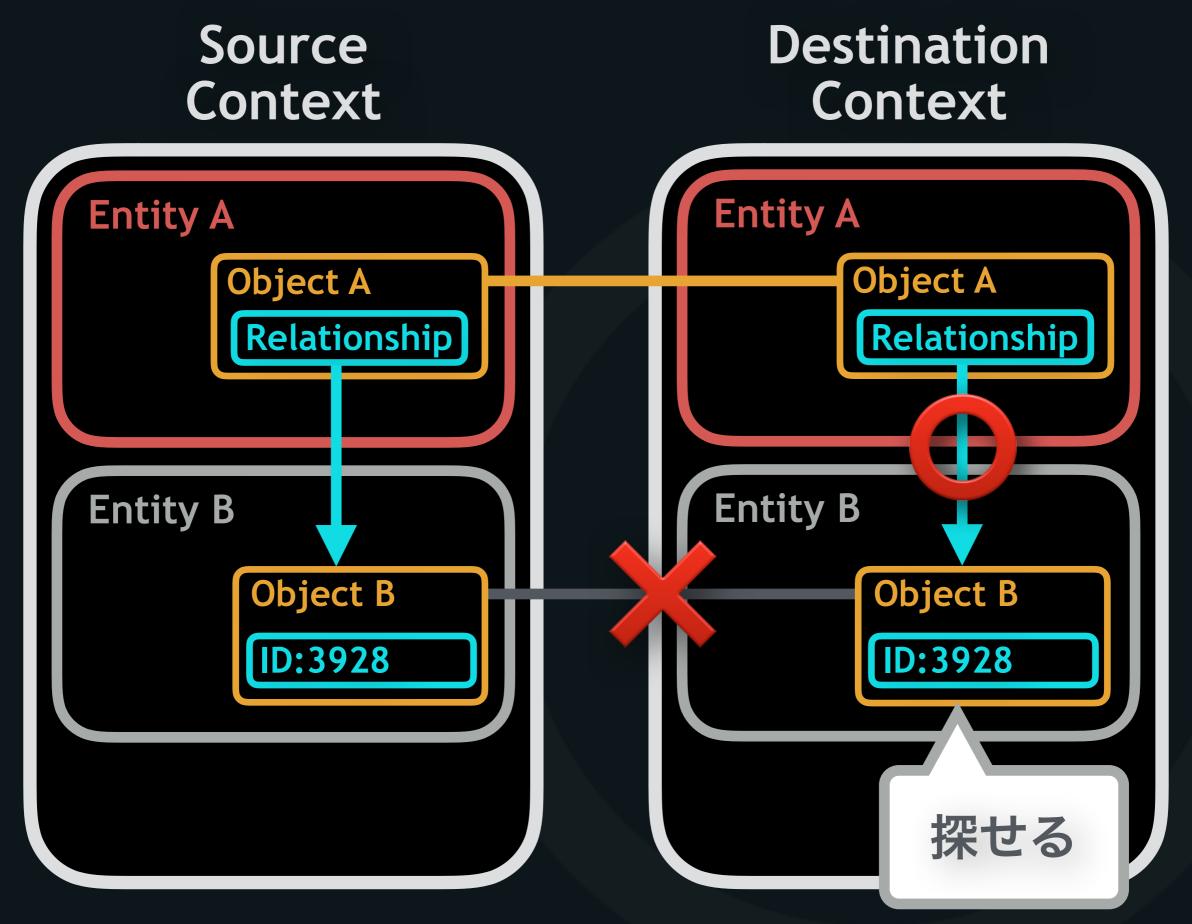
マイグレーションプロセスのオーバーヘッド

マイグレーション分割の改善

マイグレーション分割の改善1

オブジェクトに 一意の値をもたせる





マイグレーション分割の改善2

グループ分けできる値を持たせて 1つのエンティティ内で分割する

※ データの多いエンティティの場合

マイグレーション分割の改善

例えば、UUIDを持たせておく

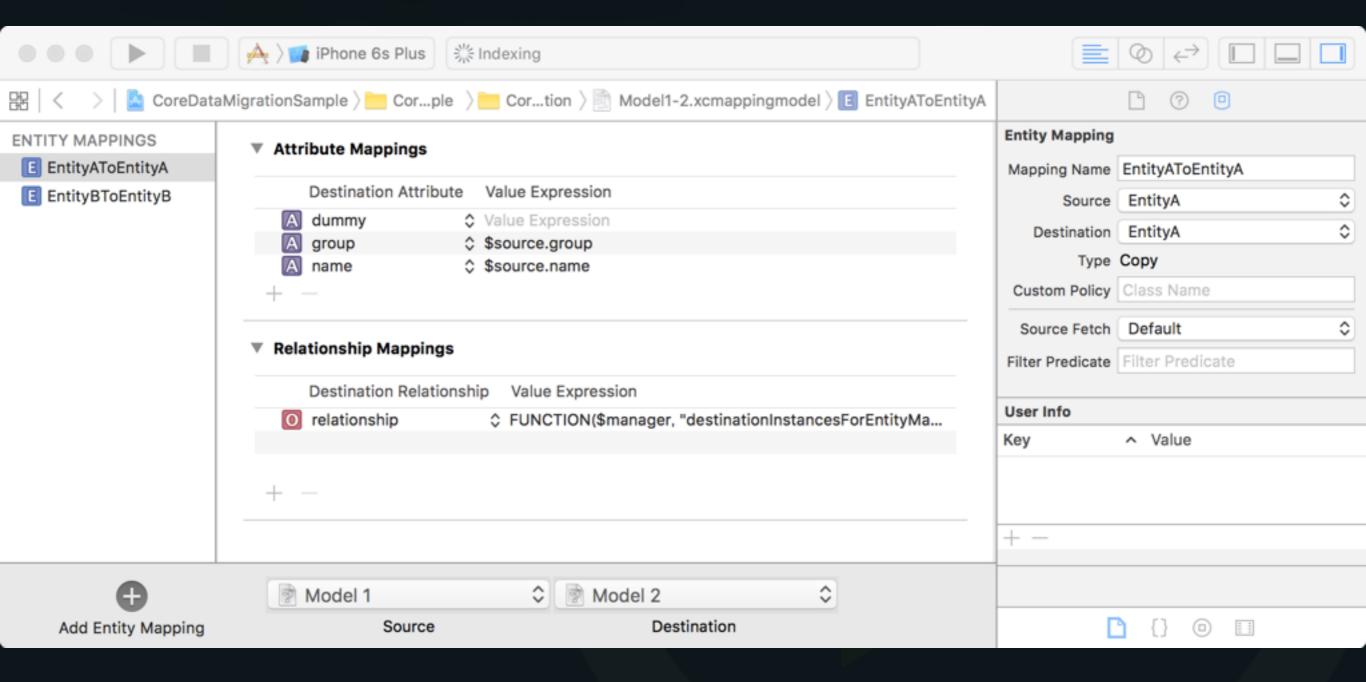
3F2504E0-4F89-11D3-9A0C-0305E82C3301

↑ 頭1文字目で16分割できて、他とかぶらない

マイグレーション分割の改善3

Mapping Modelを コードで分ける

Mapping Model



Mapping Modelをコードで分ける

元となるMapping Modelを 一つだけ作っておく

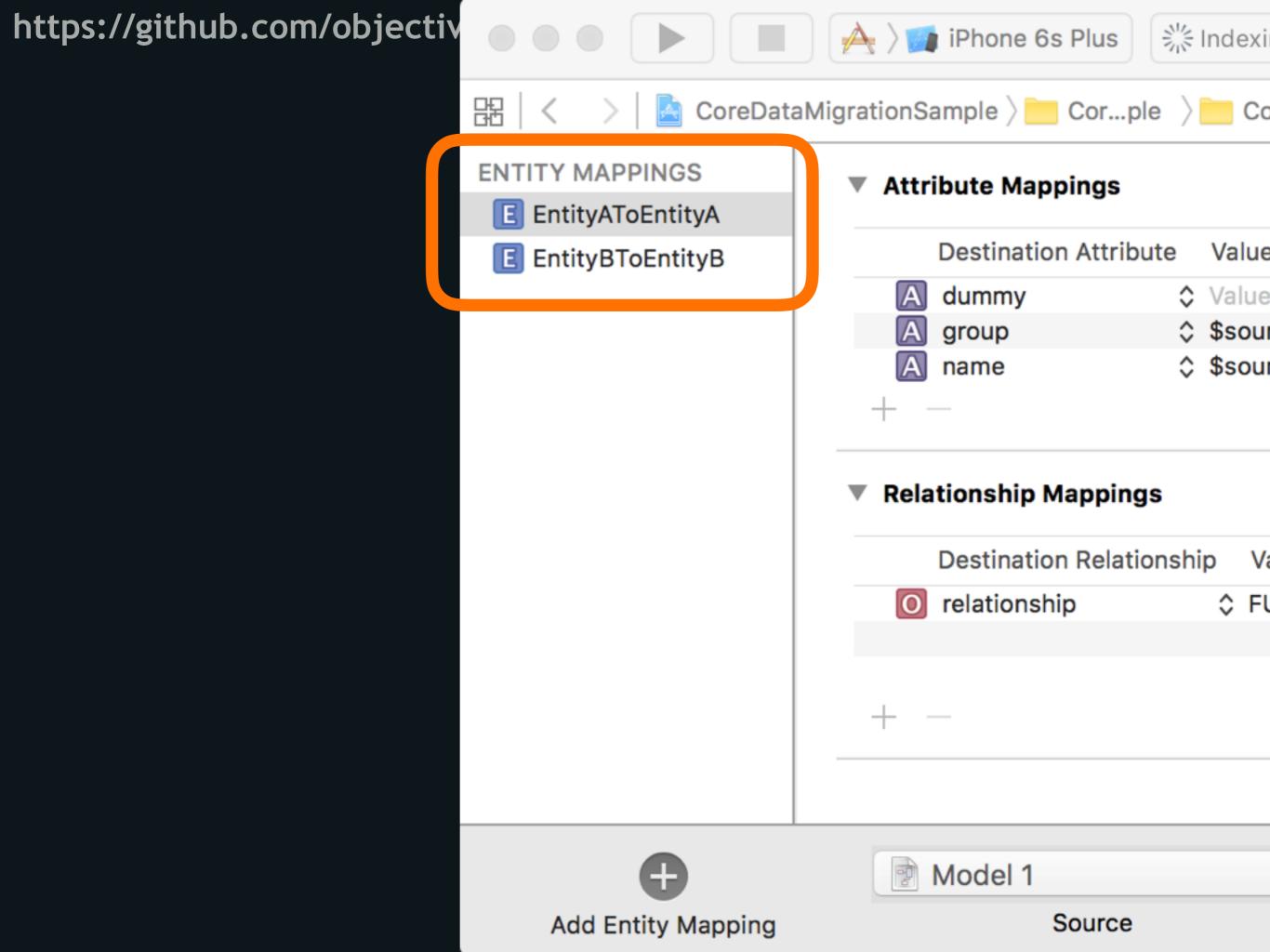
Mapping Modelをコードで分ける

分割する数だけコード上で Mapping Modelをコピー

[mappingModel copy]

Mapping Modelをコードで分ける

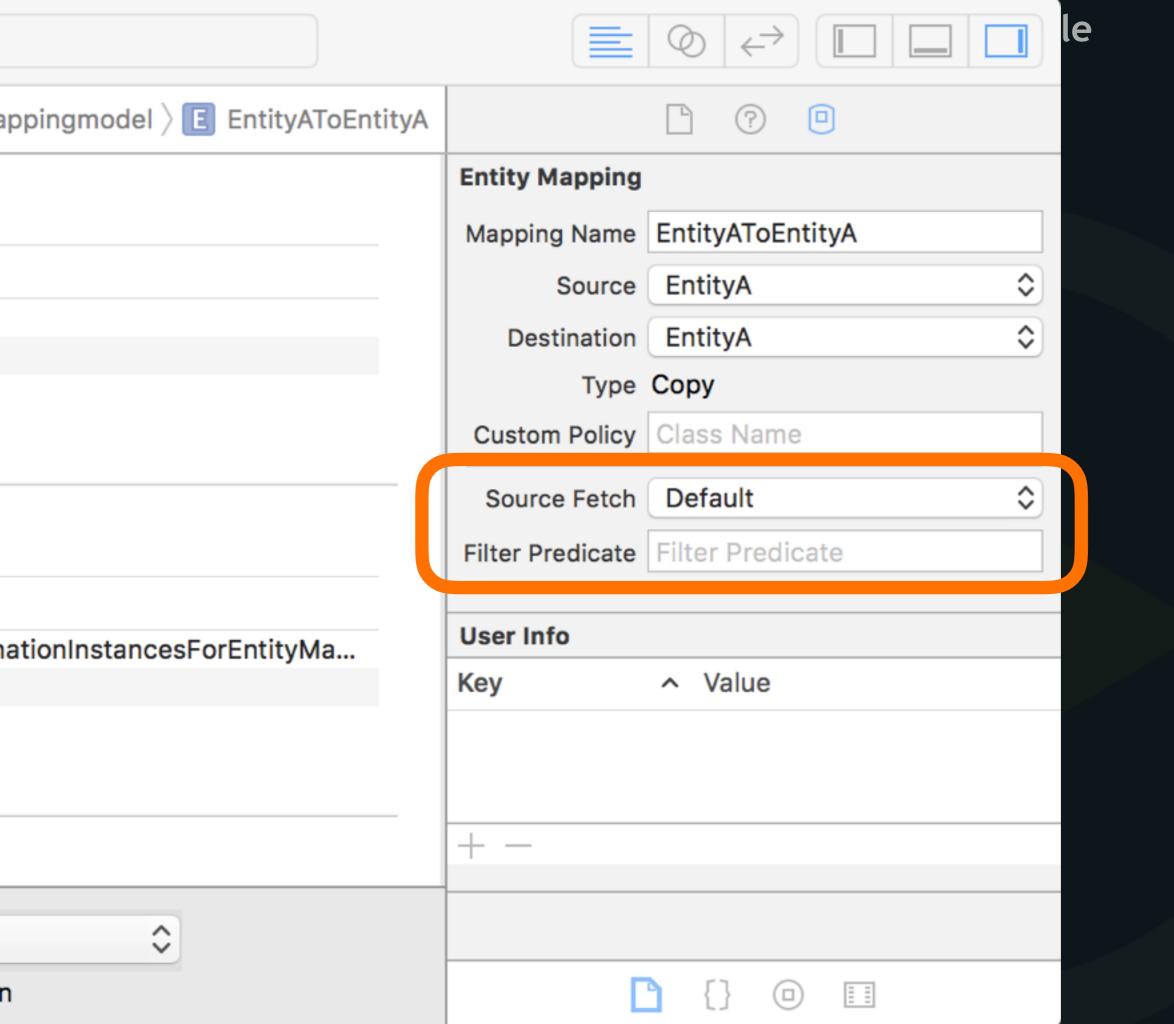
Mapping Model毎に 必要なエンティティだけ残す



Mapping Modelをコードで分ける

エンティティを更に分けるなら Filter Predicateを差し替える

sourceExpressionに NSFetchRequestExpressionをセット



マイグレーション分割の改善4

関連先のエンティティの マイグレーション順を前にする

双方向の関連は、後の順番のエンティティから 1方向だけセットすれば良い



マイグレーション分割のポイント

- メモリと時間はトレードオフ
- エンティティ毎のデータ量によって 分け方を考える
- ・処理の順番を決めて無駄な関連付けをしない
- ・必要の無いデータは引き継がない